

事務事業名 地域貢献型集落営農ステップアップ事業		所属部 産業振興部	所属課 農林振興課
総 計 画 体 系	政策名 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G 農業生産グループ	課長名 熱田 勇二
	施策名 (33)農業の振興	担当者名 内田 和巳	電話番号 0854-40-1051 (内線) 3704
	目的 対 象 市内の農業従事者	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 2 項 目 中事業 中事業 0 5 2 5 7 3	農業振興事業
	基本事業名 (099)担い手の育成		地域貢献型集落営農ステップアップ事業補助金
目的 対 象 農業従事者	意 図 A)消費者に信頼される安心・安全な農畜産物を生産する。B)農家所得の向上。		
	意 図 農業の担い手を育成する。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (19年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
農地の維持を含め地域コミュニティの再生や集落の維持・活性化に貢献する「地域貢献型集落営農」の育成に向けた取組を支援する。 ■集落サポート経営体育成支援事業 補助率:ソフト1/2、ハード1/3 ■地域貢献活動支援事業 補助率:2/3～1/2 ■ステップアップ支援事業 補助率:ソフト1/2、ハード1/3

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) ■集落サポート経営体育成支援事業 (農)サンライズファーム(コンバイン、乾燥機) (農)すがや(コンバイン) ■地域貢献活動支援事業 (農)南加茂(GISマップの導入) ■ステップアップ支援事業 (農)槻之屋ヒーリング(ビニールハウス・OJT研修) (農)すがや(ビニールハウス) 集落営農ネットワーク協議会(そばコンバイン)	25年度計画(25年度に計画する主な活動) ■ステップアップ支援事業 (農)すがや(都市住民との交流活動) (農)そぎ(トラ箱栽培施設の整備等)				
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 地域貢献型集落営農組織(法人・協業型任意組合)	組織	15	20	21	23
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	集落営農組織	ア 集落営農組織	組織	79	84	85	86
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	営農コストの削減による農業生産の維持と、農地保全機能の強化による集落環境の維持向上	ア 地域貢献型集落営農組織(法人・協業型任意組合)	組織	15	20	21	23
		イ					
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
【補助額】	財 源 内 訳	国库支出金	千円			
・(農)サンライズファーム 2,089千円		県支出金	千円	3,716	6,008	11,980
・(農)すがや 1,750千円	地方債	千円				
・(農)南加茂 215千円	その他	千円	4,316	9,478		
・(農)槻之屋ヒーリング 2,590千円	一般財源	千円	2,726	4,535	9,145	500
・(農)すがや 1,083千円	事業費計(A)	千円	10,758	20,021	21,125	3,116
・集落営農ネットワーク協議会13,398千円	人件	正規職員従事人数	人	4	4	4
計 21,125千円	延べ業務時間	時間	6,400	6,400	6,400	
	人件費計(B)	千円	24,883	25,229	25,075	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	35,641	45,250	46,200	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
これまでは農業機械等を整備するための事業であったが、現在は担い手不在地域の解消と地域に貢献する集落営農組織の育成、組織の後継者育成と雇用機会の創出に向けた活動に対して補助されるようになってきている。	担い手不在地域における集落営農の組織化と、集落を越えたサポート体制の構築による担い手不在の解消や地域貢献活動の取組支援を行うとともに、後継者確保に向けた人材育成、経営の多角化などを支援し農業・農村の活性化を図っている。	機械更新に係る補助金等の要望がある。

事務事業名	地域貢献型集落営農ステップアップ事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	集落営農組織による地域貢献に対する取組等を支援する事業であり、成果は十分に上がっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	県単事業であり事業申請があれば実施しなければならない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由		他に類似事業はない。
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		事業主体による適切な事業費であり削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		適正な事務執行に努めており、削減余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		事業主体となる集落営農組織への受益機会等は公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 県の補助対象となる担い手への支援等に係る事務は年々増えており、今後細かい部分での専門的知識も必要になり、それに対応する力が求められている。	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
担い手不在地域における集落営農の組織化や地域貢献活動の取組支援を行い、後継者確保に向けた人材育成、経営の多角化など農業・農村の活性化を図って行く必要がある。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			